

東洋ライス株式会社二本松工場

■太陽光発電施設(発電出力750kW)
 所在地/福島県二本松市関
 施主/東洋ライス株式会社
 設計・施工/株式会社きんでん
 発電開始/2014年5月

地域の電力需要に貢献する
大規模太陽光発電設備

東洋ライスは、環境と美味に配慮した稲作の「土づくり」や新品種の種籾の開発から、精米、炊飯にいたる、米づくり全工程に関する総合メーカー。米ぬかを畑や田圃に撒いて土壌づくりを行う循環式農業の実践や、河川や海を汚さない無洗米の推進活動など、環境問題についても積極的な取り組みを行い、「第24回地球環境大賞 環境大臣賞」も受賞している。その環境活動の一環が、4工場と保有地の全国5カ所に太陽電池モジュールを設置した太陽光発電事業。総出力規模は約2.1MW、年間予測発電量は2,316MWh。CO₂排出量に換算すると年間834tの削減*が計画されている。

福島県阿武隈川沿いに設置された二本松工場の太陽光発電所もその一つ。太陽電池モジュール255W3,600枚を工場の南側にある河岸段丘上の遊休地に設置。南側は阿武隈川で日射の遮蔽物が存在しないため、高い発電効率を発揮する。発電した電力はすべて、FIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)を利用して、電力会社に販売している。太陽電池モジュールを支える基礎は、耐候性にも配慮してコンクリート製の土台を地中に埋め込み、モジュールの設置角度は効率の良い30度に設定されている。

*CO₂排出係数 0.00036t/kWhで算出

阿武隈川の河岸段丘上に設置された太陽光発電施設

東洋ライス株式会社二本松工場

TOYO RICE NIHONMATSU FACTORY



3,600枚の太陽電池モジュールを設置



耐候性に配慮して地中に一部が埋め込まれたコンクリート製基礎

主な設備

- 太陽電池モジュール 255W×3,600枚